

# CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

| 1-1 建物概要 |                        | 1-2 外観 |           |
|----------|------------------------|--------|-----------|
| 建物名称     | (仮称)マークイズ福岡 新築工事       | 階数     | 地上8F      |
| 建設地      | 福岡県福岡市中央区地行浜2丁目3       | 構造     | S造        |
| 用途地域     | 商業地域、準防火地域             | 平均居住人員 | XX 人      |
| 地域区分     | 7地域                    | 年間使用時間 | XXX 時間/年  |
| 建物用途     | 物販店、飲食店、集会所、工場等        | 評価の段階  | 実施設計段階評価  |
| 竣工年      | 2018年11月 予定            | 評価の実施日 | 2017年4月5日 |
| 敷地面積     | 42,289 m <sup>2</sup>  | 作成者    | 木村陽子      |
| 建築面積     | 28,815 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2017年4月5日 |
| 延床面積     | 123,510 m <sup>2</sup> | 確認者    | 清水明       |

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

| 3 設計上の配慮事項   |   |  |
|--|---|--|
| <b>総合</b><br>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。<br>敷地周辺に住まう人々の「日常」と、ドームやホテル、海辺を訪れる来街者の「非日常」両方に寄与する施設を目指します。建物は「Marine」「Machi」「Momo」の3つのMをキーワードに、百道浜の海岸線や潮風、周囲の街並と多様性を意識したデザインを行います。 |   | <b>その他</b><br>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。                         |
| <b>Q1 室内環境</b><br>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。<br>来館者が快適に施設を利用することができるよう、温熱環境、照度、遮音性能に配慮した計画とします。昼光利用設備   | <b>Q2 サービス性能</b><br>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。建物デザインと連動した室内空間デザインを行います。利用者の快適性を考慮し、吹抜けや自然光を取り込むトップライトを設置すると共に、将来のテナン                   | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。<br>敷地外周辺には並木を、敷地中央部にはデッキと中庭を配し、地域の暑熱環境緩和や潤いのある景観づくりに寄与し                    |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。<br>高効率機器の採用、トップライト等の昼光利用設備を設置することで、効率的なエネルギー運用が可能な施設とします。  | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。<br>客用トイレ及び従業員用トイレには節水器具を採用し、水資源の削減を行います。また将来的な店舗や設備更新を考慮し、内装材と設備関連機器が錯綜しない計画とします。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。<br>敷地内には福岡市の附置義務条例及び大店立地法の台数を満たす駐車場、駐輪場を適切に計画します。また、イベント時の渋滞や混雑を考慮した構内道路の運用を行うこと |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される